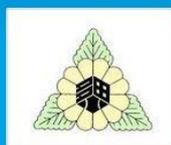


# 令和7年度「いきいき音楽体験事業」 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」 学校巡回公演（後編）



佐野市立多田小学校



## 10月21日（火）

控室の歓迎のメッセージと美しいお花にキャスト、スタッフ一同びっくり！  
学校側の心温まるご配慮に感激致しました。有難うございました。



午後の公演では、温かく迎えてくれた児童の皆さんや先生方、そして参観し  
てくださった保護者や地域の皆様のご期待に応えようと、キャストたちの歌や  
演技にも、いつにも増して力が入りました。



終演後の児童代表お礼の言葉と花束贈呈（二人とも大変立派な態度でした！）





今回は、舞台を支えてくれる裏方さんの仕事に焦点を当ててみたいと思います。



## 仕込みの様子

体育館のステージは学校によって大きさが全然違います。そのため、演者が演技しやすいように、また、児童・生徒が鑑賞しやすいように舞台スタッフが毎回その場で舞台道具を作り変えたり調整したりしています。このようにオペラや演劇の世界の裏方さんたちの中には、大工さんと同じような仕事をする人たちがいます。限られた時間の中で仕事をする正にプロフェッショナルです。



## 照明・映像スタッフの仕事

オペラでは、照明や背景の映像が大きな効果をもたらすので大変重要です。担当のスタッフは、公演前にライトの位置を調整したりプロジェクション・マッピングの映像をステージの大きさに合わせたりします。そして本番では演技に合わせて照明や映像を切り替えるタイミングを合わせなければなりません。



場面転換で道具を移動させるスタッフ



ピアノやナレーター的位置を調整

このように、オペラは多くのプロフェッショナルな裏方さんの働きがあって成り立っています。決して歌手だけの力ではありません。オペラが総合芸術と言われる所以です。

今回の宇大附属特別支援学校は、一般の学校の体育館のステージよりも狭く高さもフローアーより50センチ程しかなかったので、仕込みにはかなり時間がかかり、スタッフも苦勞しているようでした。しかし、その甲斐があって、本番はとても美しい舞台が出来上がりました。



一人オーケストラのピアニスト



舞台袖で出番を待つキャストたち



美しい舞台に集中する児童・生徒



最後はキャストと一緒に校歌斉唱



栃木市立寺尾中学校  
Tohigi City Terao Junior High School

10月30日（木）



### 栃木の寺尾中 あす閉校イベント

【栃木】来年度統合を控える寺尾中の閉校記念イベントが9日、同校で開かれる。PTA役員など8団体でつくる実行委員会の主催で校舎内見学やスライドショー上映、マルシェなど多彩な催しを企画している。PTA会長で新村友一実行委員長（41）は「79年の歴史に感謝の気持ちを込めて最高のイベントにしたい」と意気込んでいる。（佐々木優衣）



イベントへの来場を呼びかける実行委メンバー

79年の幕はにぎやかに

今年度のツアー千秋楽の寺尾中学校は、周りを里山に囲まれた自然豊かな中にある学校でした。全校生徒27名という小規模校で、来年度からは別の学校と統合され閉校となるそうです。

生徒や先生方にとって寺尾中最後の年の良い思い出となるよう、キャスト、スタッフ一同、精一杯取り組ませていただきました。

下野新聞朝刊より（2025.11.8）

## リハーサルの様子



第1幕 子どもたちを心配するお父さんとお母さん



第2幕 魔女登場



第2幕 魔女の最期



第2幕 ハッピーエンド

## 本番の様子



第2幕 眠りの精登場



本作品中一番美しい二重唱



第2幕 露の精登場



生徒代表お礼の言葉



キャストと生徒一緒に校歌斉唱

## 終わりに

今回は、県内の小規模校を回るツアーでした。中には、全校児童19名の学校もあり少子化を実感するツアーとなりました。しかし、もしかしたら、子どもたちにとってこれが最初で最後のオペラ体験になるかもしれないという思いで

精一杯演じさせていただきました。私たちにとっても貴重な経験であり、また大きなやり甲斐も感じました。

どの学校からも心温まる歓迎を受け、本当に嬉しかったです。有難うございました。

このような素晴らしい機会を提供してくださっている主催者の皆様にお礼申し上げますと共に、来年度以降もこの「いきいき音楽体験事業」が継続されることを願って今回のツアーの報告を終わりたいと思います。



**またお会いいたしましょう！**